

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	お迎え・集団療育型ライトブレインキッズ藤ノ木校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援のお迎え、預かり型をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園、認定こども園へのお迎えに行っている。 ・幼稚園や1号認定の児童でも利用しやすいように、14:30からお迎え開始をしている。(幼稚園や学年によってお迎え時間が異なるため、希望時間に添えるように対応している) ・預かり型のため保護者の就労の保証ができる。 	
2	集団での活動で様々な経験をするにより、子ども自身の成長やスキルの向上につなげることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団と合わせて個別の対応で一人一人の特性や課題に合ったプログラムを提供している。 ・プログラムや個別学習スケジュールを作成している。 ・小集団、個別、ミニプログラムの連携が取れるように昼礼や終礼にて情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での意見の交換を通して多角的に子供への支援の充実を図る。 ・タイムスケジュールを組み、児童がスムーズにプログラムへ入れるように職員間の声掛けを大切にしていく。
3	多職種の職員がそろっているため、それぞれの強みや経験を生かした支援をすることができる。 (保育士、作業療法士、心理士、児童指導員など)	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回の会議や昼礼、終礼を通して密に情報共有を行っている。 ・意見交換を行いながらプログラムを決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や研修会への積極的な参加で、職員の支援の質を向上していくこと。 ・他職種への理解を深めるための、意見交換会など。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	構造的に体を動かすスペースが少ない。(又は使いづらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースなので、時間を区切ったり、人数を調整したりと危険のないように工夫していく。 ・季節や天候などの気候的要因。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畳の上で滑ることがあり、活動によっては動き方を知らせたり状況次第では戸外(公園)などの活動も検討していく。
2	事故・災害・不審者に対する対応訓練が不十分。	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練時間の確保が困難。 ・訓練方法がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で、マニュアルの確認や訓練をこまめに行う。 ・事故や災害時の保護者連絡等の訓練や引き渡し訓練等を検討していく。
3	保護者同士が交流できる場がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流となると、就労のため日時の設定が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等を実施 ・需要があるならば月に1回～2回程度交流の場を作りたい。